

株主の皆様へ

第52期 報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日



代表取締役社長 佐伯 博

皆さまには、日頃より、当社事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第52期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

平成27年度のわが国経済は、経済成長戦略や金融緩和政策により、企業収益や雇用環境に改善の兆しが見られる等、引き続き緩やかな回復基調で推移しましたが、その一方で、中国および新興国経済の減速や年末以降の日経平均株価の下落、そして国際テロの拡散等、先行きへの不透明感が残りました。

観光業界におきましては、平成27年の訪日旅客数が、円安による割安感の定着や原油安による航空運賃の低下等に支えられ、過去最高の1,973万人に達し、政府が当初、東京オリンピックまでの目標に掲げていた2千万人に迫る等、観光業界を牽引する伸びを示しました。

このような中、当期の立山黒部アルペンルートは、前年同様、4月10日に富山側の立山～弥陀ヶ原間の営業を再開し、4月16日には立山～信濃大町間が全線で営業再開となり、11月30日まで営業いたしました。

営業の推移を概観いたしますと、3月14日の北陸新幹線開業により首都圏からの利便性が格段に高まり、また三大都市圏を中心にテレビ・新聞等で北陸地域が取り上げられる機会が大きく増え、加えて、シーズンを通して安定した天候に恵まれたこと等が奏効し、各月で入り込み人員が前年を上回りました。

この結果、当期の入り込み人員は、合計997千人（対前年110%、88千人増）となり、また、入り込み方面別では、富山入り込みが517千人（対前年109%）、大町入り込みが480千人（対前年110%）となりました。

旅客の内訳では、国内旅客の入り込み人員が、北陸新幹線開業の効果に加

え、秋期の大型連休においても、前年同期を大幅に上回るお客様にお越しただけしたこと等、総じて順調に推移した結果、782千人（対前年109%、65千人増）となりました。

一方、訪日旅客は、春期の「立山・雪の大谷ウォーク」ブランドの定着や、主要空港に発着する格安航空便の新規就航等により、特に個人客が大幅な伸びとなり、過去最高の215千人（対前年112%、23千人増）となりました。



待望の北陸新幹線開業から1年が経過し、交流人口の拡大と旅客流動の変化が確かにもたらされました。この大きな転機を絶好のチャンスと捉え、平成28年度におきましても、継続的に収益を確保していくために、積極的な誘客促進および受け入れ態勢の整備に努めてまいります。さらに、アルペンルートの知名度、認知度の向上を図り、「立山黒部」ブランドの確立を目指してまいります。

平成28年度の入り込み人員は、5月末日現在、好調であった前年度並みに推移しております。夏から紅葉期にも多くのお客様にお越しいただき、100万人観光地へ復活できるよう、引き続き販売・宣伝活動に注力してまいります。

これからも、企業理念を継承し、事業継続の前提である安全、安心の確保、自然環境の保全にも積極的に取り組みながら、今後の経営環境の変化に柔軟に対応できる安定的な経営に努めてまいりますので株主の皆さまにおかれましては、今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

決算概要

【単体】

損益概要

(単位:百万円)

	平成27年度	前期差	平成26年度
	営業収益	4,589	412
営業費	4,228	139	4,089
営業損益	360	273	87
経常損益	350	245	105
当期純損益	541	603	△61

資産・負債概要

(単位:百万円)

	平成27年度	前期差	平成26年度
	資産の部	11,125	327
流動資産	1,463	157	1,306
固定資産	9,661	170	9,491
負債の部	4,002	△209	4,211
流動負債	1,308	△58	1,366
固定負債	2,694	△150	2,844
純資産の部	7,122	536	6,587

当期の営業収益は、45億89百万円（対前年110%）となりました。一方、営業費は、人件費、物件費の圧縮など経営全般にわたる効率化に努めましたが、備品消費、誘客手数料等が増加し、42億28百万円（対前年103%）となり、営業利益は、3億60百万円となりました。これに、営業外収益43百万円、営業外費用53百万円を加減した経常利益は3億50百万円となりました。さらに減損損失等の特別損失68百万円、および法人税等を差し引き、法人税等調整額を加算した結果、5億41百万円の当期純利益を計上することとなりました。

詳細の情報はホームページにてご確認ください。

立山黒部貫光株式会社ホームページ <https://tkk.alpen-route.co.jp>

【連結】連結子会社：立山貫光ターミナル㈱、立山黒部サービス㈱

損益概要

(単位:百万円)

	平成27年度		平成26年度
		前期差	
営業収益	7,307	734	6,574
営業費	6,790	268	6,522
営業損益	516	465	51
経常損益	507	432	75
当期純損益	628	699	△70

資産・負債概要

(単位:百万円)

	平成27年度		平成26年度
		前期差	
資産の部	12,568	579	11,990
流動資産	2,465	349	2,115
固定資産	10,103	230	9,874
負債の部	5,106	△20	5,125
流動負債	1,690	84	1,606
固定負債	3,415	△104	3,519
純資産の部	7,462	598	6,864

連結子会社の損益概要

(単位:百万円)

	立山貫光ターミナル㈱	立山黒部サービス㈱
営業収益	2,932	283
営業費	2,808	268
営業損益	124	15
経常損益	131	16
当期純損益	94	11



※立山貫光ターミナル㈱は、ホテル立山、弥陀ヶ原ホテル、宇奈月国際ホテルを経営しております。

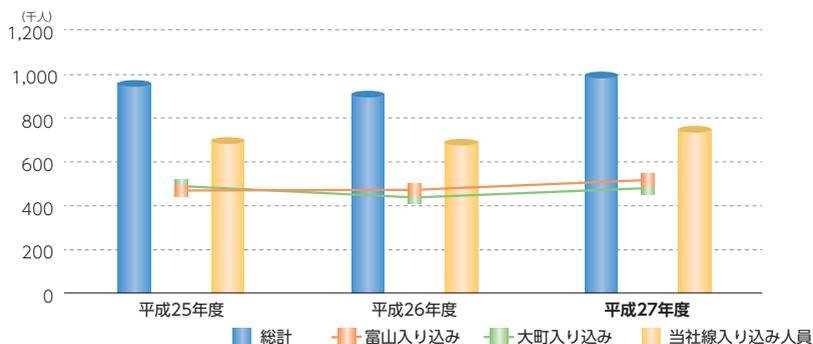
※立山黒部サービス㈱は本体事業を補完し、食品加工、手荷物回送等の事業を行っております。

営業概況

平成27年度の入り込み人員は、99万7千人（対前年110%、88千人増）で、内訳では、富山入り込みが51万7千人（対前年109%）、大町入り込みが48万人（対前年110%）となりました。

主な営業成績は、下記のとおりです。

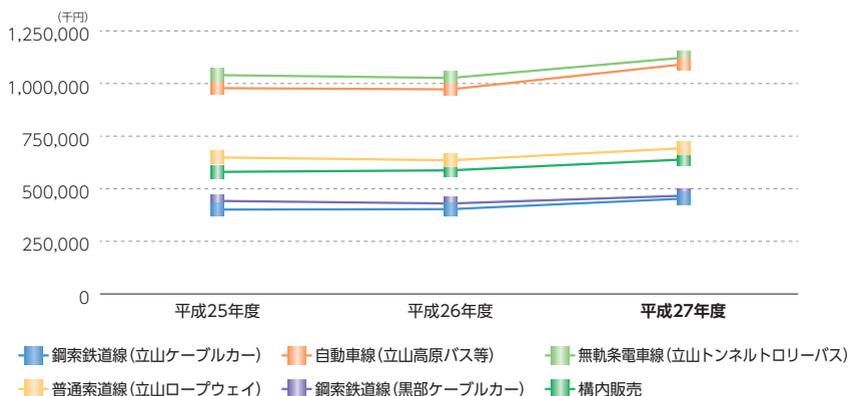
■入り込み人員



(単位：千人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
富山入り込み	469	472	517
大町入り込み	489	437	480
総計	958	909	997
当社線入り込み人員	701	693	749

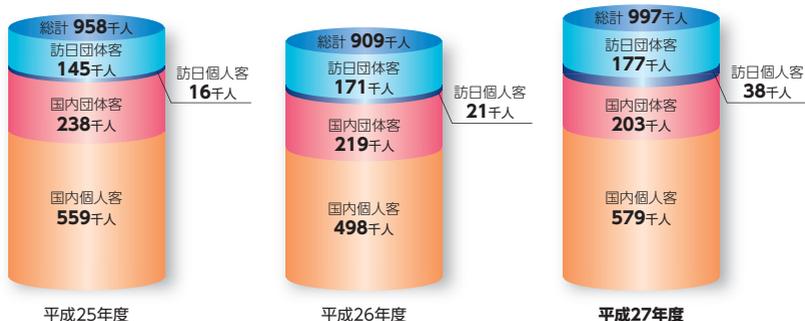
■事業別営業成績



北陸新幹線の開業に伴い、主に三大都市圏において北陸地域が大きく取り上げられたことにより、個人客が増加しました。

訪日客は、春期の「立山・雪の大谷ウォーク」ブランドの定着等により、過去最高の21万5千人となりました。

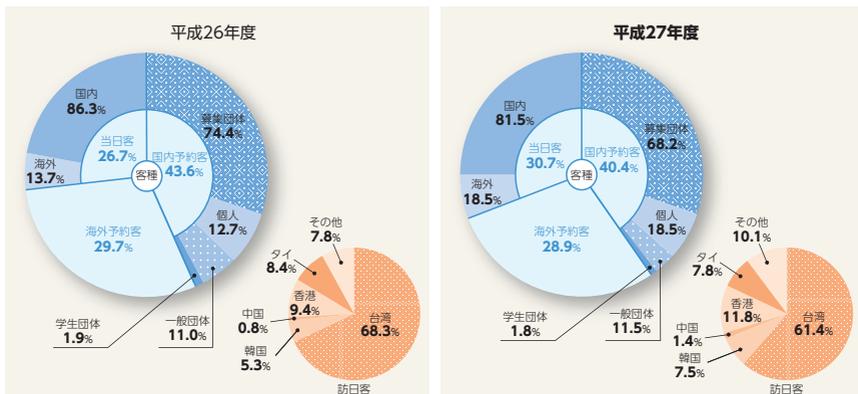
■客種別入り込み人員



(単位：千人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
総計	958	909	997
訪日団体客	145	171	177
訪日個人客	16	21	38
国内団体客	238	219	203
国内個人客	559	498	579

■地域別客種別シェア ※室堂～黒部湖間利用人員より算出



「山の日」 制定

新たに8月11日が国民の祝日「山の日」に制定されたことを記念して『たてやま「山の日」ウィーク』の開催を予定いたしております。催し物として、富山県内の観光PR「とやまの賑わいイベント（郷土芸能、物産展など）」、「立山氷河の展示（立山自然保護センターにて）」を実施いたします。



立山(雄山・大汝山・富士ノ折立)遠望



立山駅でのイベント風景

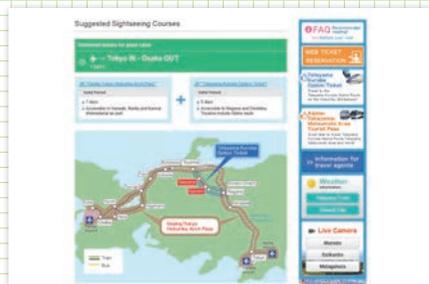
「海外版オフィシャルサイト」リニューアル

近年増加傾向にある海外からの個人のお客様の利便性向上を図るため、海外版オフィシャルサイトを3月にリニューアルいたしました。好評の日本語版オフィシャルサイトと外観を統一し、動画や写真を多数取り入れ、見所を分かりやすく紹介しております。また、WEBさっぷりモデルコース等の情報を充実させて利便性の高いサイトとなりました。



トップ画面

(英語、中国語繁体字、中国語簡体字、韓国語、タイ語対応)



参考モデルコース

その他、立山高原バスのバリアフリー対策として、車椅子のままでご乗車いただけるリフト付きバスの導入を予定いたしております。

会社概要

(平成28年3月末現在)

- 所在地 〒930-8558 富山県富山市桜町1丁目1番36号
- 電話 (076) 441-3331
- 設立日 昭和39年12月25日
- 事業目的 自動車運送事業、鉄道・軌道及び索道事業
売店・食堂その他飲食物販売業、旅行業法に基づく旅行業
- 資本金 41億6千万円
- 発行済株式総数 8,973,239株（自己株式318,429株を除く）
- 株主数 1,443名
- 役員（平成28年6月28日現在）

代表取締役社長	佐伯 博
専務取締役	佐川 栄（経営企画室長）
常務取締役	永崎 泰雄（営業推進部長）
常務取締役	新森 雅夫（総務部長）
社外取締役	石井 隆一
社外取締役	永原 功
社外取締役	庵 栄伸
社外取締役	勝田 達規
社外取締役	桑名 博勝
社外取締役	森 雅志
社外取締役	牛越 徹
社外取締役	丹波 重和
取締役	中川 修（経理部長）
取締役	見角 要（運輸事業部長）
取締役	石野 一美（立山貫光ターミナル(株)ホテル営業部長）
取締役	高江 均（技術環境部長）
常勤監査役	高平 亮
社外監査役	舟橋 貴之
社外監査役	中田 邦彦

株主関連

● 事業年度 4月1日～翌年3月31日

● 定時株主総会 6月

● 基準日

株主優待券 2月末日

定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当金 3月31日

● 公告掲載新聞 北日本新聞

● 単元株式数 100株

● 株主名簿管理人

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社

● 同取次場所

日本証券代行株式会社 支店

三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

● お問合せ・送付先

〒168-8620

東京都杉並区和泉2-8-4

日本証券代行株式会社 代理人部

0120-707-843 (フリーダイヤル)

単元未満株式買取・買増制度のご案内

当社では、単元未満株式（100株未満）をご所有の株主の皆様のご便宜を図るため、単元未満株式の買取および買増制度を行っております。

<単元未満株式の買取り>

株主様がお持ちになっている単元未満株式を、当社が買い取らせていただきます。

<単元未満株式の買増し>

株主様がお持ちになっている単元未満株式と合わせて1単元（100株）となる株式を当社が株主様に売却いたします。

お手続きの詳細につきましては、上記**日本証券代行(株) 代理人部**までお問い合わせください。

株主優待制度

ご所有株式数	優待乗車券・乗車証			ホテル 宿泊 割引券
	種 類	通用区間	発行枚数	
100株～150株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～室 堂	2枚	2枚
150株～300株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～室 堂	3枚	2枚
300株～400株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～室 堂 立 山～黒部湖	1枚 2枚	2枚
400株～600株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～黒部湖	4枚	2枚
600株～800株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～黒部湖	6枚	2枚
800株～1,000株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～黒部湖	8枚	2枚
1,000株～2,000株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～黒部湖	10枚	4枚
2,000株～3,000株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～黒部湖	20枚	4枚
3,000株以上	優待乗車券(片 道) 優待乗車証(記名式)	立 山～黒部湖	30枚 1枚	6枚

- 優待有効期間：各年度 営業期間中
- 各券のご利用方法につきましては、各券面記載事項をご覧ください。

～旧「立山開発鉄道株式会社」株券をお持ちの株主様～

当社では、合併により消滅した立山開発鉄道株式会社の株券と、当社株券との引換えを行っております。まだ引換えのお済みでない株主様は、新株券との引換えをお願い申し上げます。

なお、引換えのお手続きにつきましては、左記日本証券代行(株) 代理人部までお問い合わせください。

